

保護者各位

鳥取西小学校 校長

高島 昌之

情報機器にかかわる「4つのリスク」

スマホやスイッチなどで、子どもたちはゲームやユーチューブを見て楽しんでいる話を聞かせてくれます。親子で楽しくやって会話が弾んでいる話などを聴くと親子間のコミュニケーションに一役買っている姿が見えてきます。

しかし、長時間やることでの弊害や「ネット依存症」と思われる事例もでてきています。鳥取西小学校でも、「ネットゲームのイベント」に参加しようと、午前3時から午前5時までゲームをしていた子どもたちが数人いたということもありました。

下記に「4つのリスク」を紹介します。明日から4日連続のシリーズ物で情報提供をしていきます。ぜひ、目を通してお子さんと向き合って一緒に考えてほしいと思います。

1. 依存症のリスク

ゲームが悪いのではなく、ゲームに支配されない生活様式を身に着けて、ゲームとの共存する生き方を身につけなくてはなりません。「ゲーム依存症」は、薬物やアルコール、ギャンブルなどの「依存症」と同じです。

2. 犯罪に巻き込まれるリスク

有害情報に知らずに染まったり、犯罪に巻き込まれる危険性を常に考えなくてはなりません。リスクを知らずにネットとつながるといのは、扱いも危険性も知らずに子どもが車を運転するようなものだと警報を鳴らす専門家もいます。

3. 脳への影響のリスク

長時間、情報機器を扱うことは脳への影響が大きいことが、分かってきています。長時間ゲームをやっている時の脳の状態(前頭葉の血流状態)は、「重度のうつ病」や「痴呆症」の状態に激似しています。

4. 友人関係トラブルのリスク

思春期は、同年代の友人との繋がりが、幸せを感じる大きな要因です。トラブルから「お友達申請(フレンド)」を外す。その決定権を持つ人に気を遣い身も心も疲れていくという事例が「いじめ・不登校」に係る研究会で紹介されています。